



2018年秋期闘争 働く一人ひとりを大切にするソニーへ DC移行人生100年時代に対応可能？ 納得無しに署名などありえない！

リストラ・人減らし、賃金削減など、労働者への犠牲転嫁で史上最高益を達成したソニー。私たちソニー労組は、雇用を守り、誰もが人間らしく安心して働き続けることができる職場の実現を求めて秋闘に取り組んでいます。

そのような中、ソニーは確定拠出年金(DC)への完全移行を提案し、12月17日に多数派組合と合意したとして年金制度の改定を通知し、説明会を開いています。しかし、ソニー労組とはまだ一度も団体交渉を行っておらず不当労働行為にあたります。1月18日の第3回秋闘団交の席上、抗議するとともに、期限のない不当な片道出向、仕事の取り上げや応援業務などの問題を追及し、士気高揚につながる適正な働き方に改めるよう強く求めました。

説明会から署名までわずか1カ月

年金制度の変更について、会社の通知では説明会が2019年1月中旬〜2月、同意署名が2月と、非常に短期間に設定されています。この一カ月にも満たない期間で複雑な年金制度を理解し、それぞれのメリット、デメリットを把握することができるでしょうか。

会社発行のパンフレットにはDC移行のメリットしか記述がなく、DCの運用リスクに関しては一言も触れていません。会社も労働者も明るい未来が待っているでしょうか。

質問に回答できない説明会

すでに説明会が開かれています。わずか1時間、出席できるのは1回のみ。出席者からは「理解が不十分で質問できなかった」「質問したら説明者からは不明瞭な回答ばかり」「回答できず本社に確認…」など不満や不信の声が寄せられています。

署名集めに問題あり！違法では？

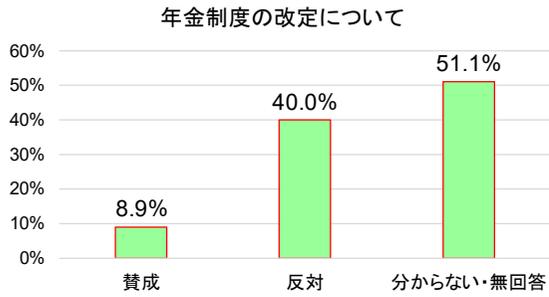
署名にも「嫌なやり方」と不満が出ています。提示された同意署名のイメージは、対象者の社員番号と氏名の一覧に、それぞれ実筆署名の欄が設けてあります。公正な同意署名と言えるでしょうか。未記名者が職場の仲間や上長に一目了然となつてしまいます。反対や保留の人には威圧となります。

憲法13条「すべて国民は、個人として尊重される」を侵害するものと言えます。

春闘要求アンケート

賛成1割 反対4割

ソニー労組は昨年12月から春闘要求アンケートに取り組んでいます。



ソニー労組2019年春闘要求アンケート(中間集計)

＜ソニー労組に寄せられたご意見から＞
終身年金の補填は寿命 84 歳位で算出されていた。「人生 100 年時代の変化に対応」と矛盾する。人生 100 年時代というのなら 補填は 100 歳で算出すべき！

1月中旬の中間集計では、年金制度の改定については、賛成が8.9%、反対が40%、分からないと無回答を合わせて51.1%でした。4割が反対し、半数が分からないという状況です(左上)。

制度説明会を経て賛成が増えるかも知れませんが、公正な同意署名を行った場合、3分の2以上の同意が得られるのかは疑問です。

署名を延期し、本当の理解を求めよ

会社は「説明の限りを尽くす」と述べています。上長や人事部門からの強要も予想されます。これでは、年金制度の変更に労働者のリスクが高いことを、会社自ら認めるものになります。

強要・強制は論外です。同意署名をお願いする場合は、労働者の疑問に誠実に応えて、納得できた段階で実施すべきです。同時に、ソニー労組との団交に必要な資料提示して誠実に応じるべきです。それには十分な時間が必要です。同意署名は延期すべきです。

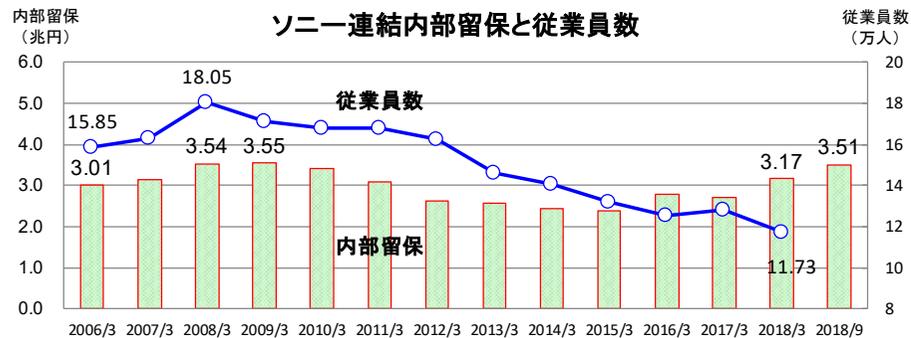
将来に向けてじっくり考えましょう

会社は退職給付債務を強調しますが、一方で連結内部留保は3.5兆円超え役員報酬は国内トップ。他方、従業員数は右肩下がりで(下)。

04年度に成果主義を導入して以降、賃金削減も続いています。そして年金制度の変更です。

「会社の財務改善のためにリスクを労働者個人に転嫁するもの」とか、週刊誌で報道されたように「巨額の手切れ金」「企業が社員を見捨てた」など不信が広がるのは当然です。

DCとDBの併用が一般的と言われるなか、じっくり検討する必要があります。皆さん、ソニー労組にご意見やご感想をお寄せください。



ソニー有価証券報告書より

全日本電機・電子・情報
関連産業労働組合連合会
ソニー労働組合
TEL 03-5795-6298
<https://www.so-union.org/>
2019.01.25